

医王病院ニュース

患者さん一人ひとりに寄り添い、心のふれあいを大切に信頼される医療を目指します。



大乘寺(金沢市)

秋号
第47号

平成30年11月16日発行

療育指導室 新たな活躍の場を求めて！

出前講座を開催しました

看護部 看護職の再就業支援セミナーを行いました

薬剤科 薬剤師高橋優の明日はきっといい日になる

栄養管理室 お菓子大好き！金沢市民 ～正月菓子～

ニューフェイス

石川県立医王特別支援学校

外来担当表、病院案内図

新たな活躍の場を求めて！

療育指導室 保育士 川邊 祐樹

皆さんは「ボッチャ」というスポーツをご存知ですか？

日本中が心待ちにしている、2020年東京パラリンピックの正式種目にもなっている障がい者スポーツで、ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに向かって、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかにジャックボールに近づけるかを競う競技です。実は今年9月、医王病院にボッチャを楽しむためのサークル「ボッチャサークル『One Fingers』」が開設しました！

医王病院では、筋ジストロフィーなどの疾患により超長期に渡り入院している患者さんが多く、外に出る機会が少ない患者さんは院内での療育活動やパソコン、ゲームをしながら毎日を過ごしています。日々病気と闘いながらも、楽しみを見つけ生活している患者さんを見ている中で、もっと広い世界で活躍できる場はないか、とたどり着いたのが「ボッチャ」です。最初はレクリエーションとして、さらにはスポーツとして取り入れたいと考えており、自らの想いだけでなくチームや相手のことを考え、意見を言い合いながら楽しむ中で、これまでにない達成感や満足感を得て頂けたらと思っています。

「ボールを投げたり、転がしたり」という動作は筋ジストロフィーの患者さんにはとても難しく、そんな方のためにある補助具「ランプ」を、なんと療育指導室の池島室長が手作りで作成してくれました。高さを調整しやすいよう、また、ボールを転がしやすいよう



試行錯誤して作成してあり、One Fingers特製のランプが出来上がりました。

いざ、ボッチャサークルの初日。

初回のメンバーは以前から希望のあった患者さん2名で、実際にランプを使用してゲームをしてみました。患者さんの顔は真剣で、うまくジャックボールに近づけられた時には満面の笑みを、思い通りにいかない時には悔しそうにと、日常では見られない様々な表情が見られました。

「うわー今の上手い！やられた！」「どうやこの作戦！」と、相手に対しての言葉



も出ており、心から楽しんでいる様子でした。

今後は筋ジストロフィーの患者さんを中心に希望者を募ってメンバーを増やしていくと同時に、レクリエーションとしてだけでなく、各スポーツ大会等への出場も視野に入れて活動していけたらと思っています。また、患者さんと共に目標を立て、共に楽しみ、共に喜びあえるような活動としてこのボッチャが継続していけるよう全力でサポートしていくと同時に、今後も患者さんの声をしっかりと聴き、よりよい活動が提供できるよう日々向きあっていきたいと思っています。



<ボランティアさん募集>

当院では患者さんの療養に必要な環境整備等間接的な活動を通して支援していただく「地域ボランティア」と患者さんに直接かかわっていただき療養生活を支援していただく「ふれあいボランティア」の募集を行っています。

今年度は新しく「屋上庭園の花植え」・「患者さんの私物の車イスの清掃」・「患者さんの話し相手、趣味の補助」のボランティアさんを募集しています。また、今回記事にて紹介した「ボッチャサークル」にて患者さんの車イス操作やボールを転がす際の援助をして頂けるボランティアさんも募集しています。

ベッド上で過ごす時間の長い入院患者さんにとって、家族さんや職員以外の人と接することのできるボランティアさんとの時間は大変有意義で貴重なものとなっています。

ボランティアさんの活動は様々あり、ご都合のつく曜日や時間にあわせてご相談させていただきますので、ご興味のある方は是非一度ご連絡下さい。

(当院ホームページでもご案内させて頂いておりますので、そちらも是非ご覧下さい)

医王病院 ボランティア委員 池島・畠中

出前講座を開催しました

管理課長 畑 美育



医王病院では地域医療活動の一環として、平成21年度から病院近隣地域への出前公開講座を行っています。

今年度のタイトルは「認知症の基礎知識と早期発見のポイント」と題して、東森本集会所で老人看護専門看護師の高道看護師長が講演しました。

高齢社会白書では、認知症患者の推定数が団塊の世代の高齢化に伴い現在約550万人と推定されているが2030年には約744万人まで増加するといわれています。85歳を超えると3人に1人、90歳以上では過半数が認知症を発症するといわれ、他人ごとではなく身近な問題であることから、集まった方々の関心も高く、熱心に聴かれていました。

特に加齢によるもの忘れと認知症によるもの忘れの違いや悪しき生活習慣の改善（脳血管障害のリスク低減（喫煙、脂質、血圧など）、運動の重要性、家族や友人との交流、趣味や社会活動の機会を持つことの大切さを痛感されてました。終わりに参加者全員で運動をしながら、あたまをつかうコグニサイズを行いおよそ45分間の講演を終了しました。

質問のなかで75歳以降の自動車運転免許更新のおり、認知症が疑われて初めて受診した方の多い

ことに驚きました。本人は認知症を発症していると認識している場合は少なく、家族や友人で認知症ではと感じた場合は、認知症（もの忘れ）外来の受診を進めることが早期発見と早期治療を行ううえで重要だと再認識しました。

最後に出前公開講座は、地域のみなさまへ健康に関する話題、知識、情報をお届けするために、これからもどんどん行っていきたいと思います。講演希望がございましたらお気軽にご連絡ください。また、希望のテーマがありましたら是非ご意見をお寄せ下さい。

ナン・スタディ Nun Study

- 規則正しい生活、適度な栄養、生きがいのある生活、社会活動、他者とのコミュニケーションや交流
- 若い頃からの知的活動
- 脳血管障害のリスク低減（タバコ、脂質、血圧など）



看護職の再就業支援セミナーを行いました

摂食嚥下障害看護認定看護師 大平 美穂

平成30年9月26日(水)、当院にて『看護技術「摂食・嚥下障害看護」』と題して、最就業支援セミナーが開催されました。このセミナーは、再就業をめざし最新の看護事情や技術を学びたいという方や、現在就業中だがより高い看護の知識と技術を学びたいという方のためのもので、看護師20名の方が参加されました。時間は13時30分～15時30分で、「なぜ嚥下障害が生じるのか」を脳のしくみから病態生理の説明を行い、食事介助方法を実際の患者さんが食べているお食事を試食しながら実技を交えて行いました。経管栄養では、鼻からの経鼻経管栄養法と胃ろうの経管栄養法を中心として、観察する点や実施方法、合併症などを説明しました。また、口腔ケアの効果については手順と実技を交えて行いました。実技では患者役、看護師役に分かれて実施しましたので、日ごろの患者さんの気持ちになって行えたのではないかと思います。参加者の方々から日ごろの食事介助、口腔ケア、経管栄養を実施している際の疑問が積極的に聞かれましたので、少しでも今後のより良い看護につなげることができるようなセミナーになったのではないかと思います。



薬剤師高橋優の明日はきっといい日になる

薬剤科 高橋 優

最近皆さんいかがお過ごしでしょうか？私は外が寒くなって来たので、鍋が恋しくなったり、グラタンが恋しくなったり、豚汁が恋しくなったり、チキンが恋しくなったりと、食べ物のことばかり考えています(笑)

もう一つ、寒くなって考えることは「インフルエンザワクチンの供給は大丈夫かな？」と。皆さんご存知のように、2017年度においては、ニュースでもワクチンが足りないと報道されていましたが、当院においては何とか確保することができました。では、一体何が不足の原因だったのかということ、ワクチンの製造工程でウイルス株（ワクチンの元）の変更があったために、医療機関への供給が遅れました。今年は適正に使用すれば不足しないそうです。ここで述べる適正に使用とは13歳以上へのワクチン接種を原則1回にすることです。皆様ご協力宜しくお願いいたします。

あと、インフルエンザワクチンのお話をしましたが、お薬についてもお伝えしたいことがあります。抗インフルエンザ薬の一つであるオセルタミビルリン酸塩(商品名:タミフル)は、2007年から因果関係は不明であるものの、10歳以上の未成年者が家の外へ飛び出す等の異常行動が発現したために、原則としてこの年代に使用を控えるように通知が出されました。しかしながら、今年の専門家会議によってオセルタミビルリン酸塩と異常行動の因果関係は明確でないと判断されたために使用を認めることになりました。ただし、処方された場合は注意を怠らないようにして下さい。とくに、保護者の方はインフルエンザが疑われる発熱から少なくとも2日間は、就寝中も含め、お子さんが一人にならないよう注意して下さい。

手洗い、咳エチケット、健康管理、予防接種、適度な湿度、人混みや繁華街への外出を控えるなどをしてインフルエンザから身を守り、明日もいい日にしましょう！



(厚生労働省インフルエンザ予防啓発ポスター、左：マメゾウくん、右：コマメちゃん)

お菓子大好き！金沢市民 ～正月菓子～

栄養管理室 南部 智子

最近テレビ等で放送され、知っている人も多いと思いますが、金沢市は菓子類の購入額がとても多いそうです。その内訳を調べてみると、菓子類の中でもアイスクリーム・シャーベット、ケーキ、和生菓子の購入額が全国1位となっており、和生菓子に関しては2位とは約3000円も差があります。江戸時代に藩をあげて茶道を奨励したことで、金沢の和菓子文化が花開いたといわれおり、現在でも折々の行事に定番の和菓子が欠かせません。

桃の節句には『金花糖』。7月1日には『氷室饅頭』。土用の丑の日には『ささげ餅』。今回はお正月に食べるお菓子を紹介します。

・福梅・



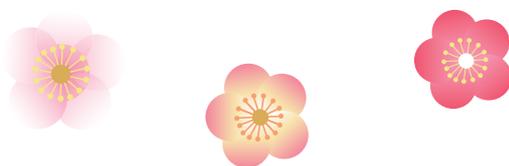
所説ありますが、加賀藩主前田家の家紋である「剣梅鉢」の「梅」をかたどった最中菓子で白と薄紅の2色あります。最中の中には日持ちさせるために水飴を練りこんだねっとりとした固めの粒あんがはいっています。(かなり甘め！ずっしり重い！) お店ごとに微妙に味に違いがあり、石川県全域、さらに富山県の一部地域でも食されているそうです。

・辻占・



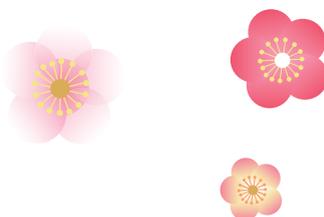
正月の時期にしか出回らない、砂糖菓子です。砂糖と餅粉を混ぜ合わせた物を巾着包みにして、真ん中に格言やことわざが書かれた小さな紙が入っています。ドキッとする意味深なメッセージが書かれていることが多いです。形は花をかたどったり、五角形に包んだり、お店によって様々です。富山県の辻占は飴でおみくじをくるりと巻いてあるそうです。

・福德・



ふくとく、ふつとこ、ふつとくと読まれるそうです。打ち出の小槌や俵などをかたどった最中の皮の様な餅種の中に金花糖や小さな土人形が入っていて、食べるまで中身は見えません。明治期に正月用のめでたい菓子として広まりましたが、現在では1社でしか製造されておらず、12月中にしか入手できないそうです。

ぜひ、スーパーや和菓子屋さんで探してみてください。





所属 職名 名前

- ①出身地は？
- ②趣味・特技は？
- ③自己紹介・抱負などをお聞かせください。

第1病棟 看護師

土肥 雅子

- ①金沢市
- ②スキューバダイビング
- ③分からない所だらけでご迷惑おかけしますが、一生懸命がんばります。よろしくお願いします。

外来 看護師

酒井 小百合

- ①金沢市
- ②足湯巡り
- ③外来での業務は初めてのなのでドキドキの毎日です(笑)。1日でも早く皆様のお力になれるよう頑張ります。

第5病棟 療養介助専門員

疋田 佐知子

- ①金沢市
- ②パン屋巡り・ユーチューブを見ること
- ③早く仕事に慣れ、職員・患者さんに信頼してもらえ介助員になりたいと思います。よろしくお願いします。

第7病棟 療養介助専門員

中嶋 一啓

- ①津幡町
- ②お城や寺社を見に行くこと
- ③患者さんをはじめ、皆さんに信頼して頂けるよう丁寧な仕事を心がけ、頑張ります。

療育指導室 保育士

森田 由紀

- ①金沢市
- ②趣味は美味しいものを食べることとヨガ(呼吸法と瞑想)、特技はぼーっとすること
- ③患者さんとのコミュニケーションを大切に、患者さんに寄り添った療育を楽しんでいきたいと思っています。

事務部 経理係

三浦 真樹

- ①白山市
- ②マラソン
- ③1日でも早く慣れるように頑張りたいです。よろしくお願いします。





入院中の子どもたちも 継続的な教育が受けられます！

- 石川県における病弱教育を担う特別支援学校は、医王特別支援学校、及び小松みどり分校です。
※病弱教育とは、何らかの病気により長期にわたって医療（入院・治療）を要する子どもたちへの教育です。
- 医王特別支援学校は、隣接する医王病院に入院しながら教育を受けることができる県立の学校です。
- 個々に応じて、学習空白や遅れを補う教育をしていきますので、安心して入院し治療できます。
- 医王特別支援学校には、小学部、中学部、高等部、分教室、病院訪問教育があり、希望に応じて進学・就労などの進路指導も行っています。

< 医王特別支援学校の様子 >

第44回 文化祭

10月17日(水)、ステージ発表や作品展示、コーナーの模擬店と児童生徒、教員、みんなが力を合わせてがんばりました。今年度の文化祭も思い出に残る、とても楽しい時間となりました。病院スタッフの皆様、保護者の皆様どうもありがとうございました。

海の声

近隣の特別支援学校やお店から仕入れたクラフトや焼き菓子を販売しました。

コーナー IOU MART

医王の森ワールド

全校合唱 翼をください

お母さんの好きなモンブランのケーキを作ってくれたの？
そうよ♡

作品の前で

医王の森ワールドから来た昆虫一家のお客様ね

ここでは紹介しきれなかった行事、授業の様子などがたくさんあります。日々の児童生徒の授業、行事の様子や自然に囲まれた校舎の様子などを学校ホームページで紹介します。

「石川県立医王特別支援学校HP」は、・・・
<http://www.ishikawa-c.ed.jp/~iouxx>
パソコン、携帯電話等からご覧いただけます。
ぜひご覧ください！



～ 外来診察のご案内 ～

【診察時間】

午前 診察受付/午前8:30～11:30
診察時間/午前9:00～正午

午後 診察受付/午後3:00～4:30
(小児科のみ) 診察時間/午後3:00～5:00
(予防接種の方は午後3:00～4:30)
※午後の一般内科は休診です

【休診日】土曜・日曜、祝日

●小児科外来担当

	診療科	月	火	水	木	金
午前	一般	中村	梅	中農	丸箸	大野
午後	一般	脇坂	梅	村岡	山田	横井

●内科外来担当

	診療科	月	火	水	木	金
午前	一般内科	高橋(1.2.3.5週) 本崎(4週)	田上	柴田	朝川(4週) 本崎(1.2.3.5週)	田上
	神経内科	朝川	駒井 本崎	石田 高橋	駒井・柴田	石田
	呼吸器内科		田上			田上

●皮膚科

	診療科	月	火	水	木	金
午前	皮膚科	担当医				担当医

●専門外来(要予約)

<小児心身症> 大野
<言語> 中村・脇坂・横井
<発達/神経/てんかん> 脇坂・横井
<重症心身障害児> 丸箸
<筋ジストロフィー> 大野・脇坂
<肥満> 山田

～ 患者さんの権利と義務 ～

患者さんは誰でも人間としての尊厳を大切にされ、医療を受ける権利を有します。また、医療は患者さんと病院職員が、お互いの信頼関係に基づき共に作り上げていくものです。したがって患者さんには医療に積極的に参加していただくことが必要です。

当院はこのような考えに基づき、下記の「患者さんの権利」を尊重して医療を提供いたします。また患者さんは「患者さんの義務」を果たされるようお願い致します。

患者さんの権利

1. 患者さんは良質な医療を公平に受ける権利を有します
2. 患者さんは病気に関する情報や検査・治療についての説明を聞き、自分の受ける医療を選択できます
3. 患者さんは個人情報保護される権利を有します
4. 患者さんはいつでもカルテ開示を求める権利を有します
5. 患者さんはいつでもセカンドオピニオンを求める権利を有します

患者さんの義務

1. 患者さんには病院の諸規則を守る義務があります
2. 患者さんには自ら病気を治そうと努力し、また病気に関し病院職員の指示を守る義務があります
3. 患者さんには他の患者さんの治療や検査、快適な療養生活に支障を与えないように配慮していただく義務があります
4. 患者さんには当院での入院治療が必要でなくなった時には退院頂く義務があります
5. 患者さんには医療費の外、利用契約に基づく一部負担金などを支払う義務があります

医師および医療従事者の権利

医師および医療従事者は、自らの良心や医療倫理に相反することに対して、患者さんからの要求があっても拒否する権利があります

～ 医王病院 出前公開講座～

認知症の基礎知識と早期発見のポイント

医王病院では毎年出前公開講座を行っております。本年度のテーマは、「認知症の基礎知識と早期発見のポイント」です。講座ご希望のグループなどがございましたら、お気軽に医王病院管理課までご連絡ください。TEL076-258-1180 (内線2100)



職員募集

詳しくは人事担当までお問い合わせください。



独立行政法人 国立病院機構 **医王病院**

〒920-0192 金沢市岩出町二73-1 TEL.076-258-1180 FAX.076-258-6719 <http://www.hosp.go.jp/iou/>

●交通アクセス

- ・JR金沢駅よりJRバス(福光行、田ノ島行、中尾行)で30分、医王病院前下車
- ・IR森本駅より徒歩15分 ・北陸自動車道 森本ICより車で5分 ・山側環状線より車で5分

■発行者 医王病院 ■発行人 駒井清暢 ■発行日 平成30年11月16日 ■印刷所 株式会社ハクイ印刷

この広報は高精細340線で印刷したものです。



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA:環境保護印刷推進協議会